

2010年3月31日
株式会社ネットスプリング

Press Release

シングルサインオンアプライアンスの新製品「SSOcube」の出荷を開始

国内初の SSO アプライアンス製品／信頼性の高いソフトウェアを実装

報道発表後に機能強化を実施／ユーザーニーズに対応

- ・ Microsoft 社・アクティブディレクトリー (AD) との連携を強化
- ・ モデル価格を 50 ユーザライセンス単位に細分化

株式会社ネットスプリング（本社：東京都港区、代表取締役社長：西武 進、以下ネットスプリング）は、新製品のシングルサインオンアプライアンス製品「SSOcube」（エスエスオー・キューブ）の出荷を 2010 年 3 月 31 日から開始しました。価格は 220 万円（100 ユーザモデルの SSOC01-10 の場合、税別）から。販売は、SI 事業者などのパートナー企業を通じて行い、中堅企業や大企業・金融機関の部門ユーザ・関連会社・子会社、公共団体や大学事務局等の部局をメインターゲットに展開する予定です。初年度の販売目標は 100 台。

新製品 SSOcube は、国内初のアプライアンス形態のシングルサインオン（以降：SSO）製品であり、予めハードウェア（認証サーバ）にソフトウェア機能や運用管理に必要な機能をオールインワンで実装しているソリューション製品として提供されます。

本製品は昨年 11 月 25 日の報道発表以降、大きな反響を呼びました。パートナー・ユーザ各社様より寄せられたご意見・ご要望を踏まえ、これを反映した機能強化を施して出荷を開始します。

機能面では、Microsoft 社アクティブディレクトリー（以下：AD）との連携を強化。AD を外部レジストリとして利用することを可能にし、また 2 要素認証 (2FA) を OTP として利用可能としています。加えて、AD をグループ分けすることにより SSOcube の複数台運用を可能にし、1000 名以上の大規模利用への導入も可能としました。ライセンス体系も 50 ユーザ単位に細分化し、導入先のニーズに最適なモデルで対応できるようにしています。

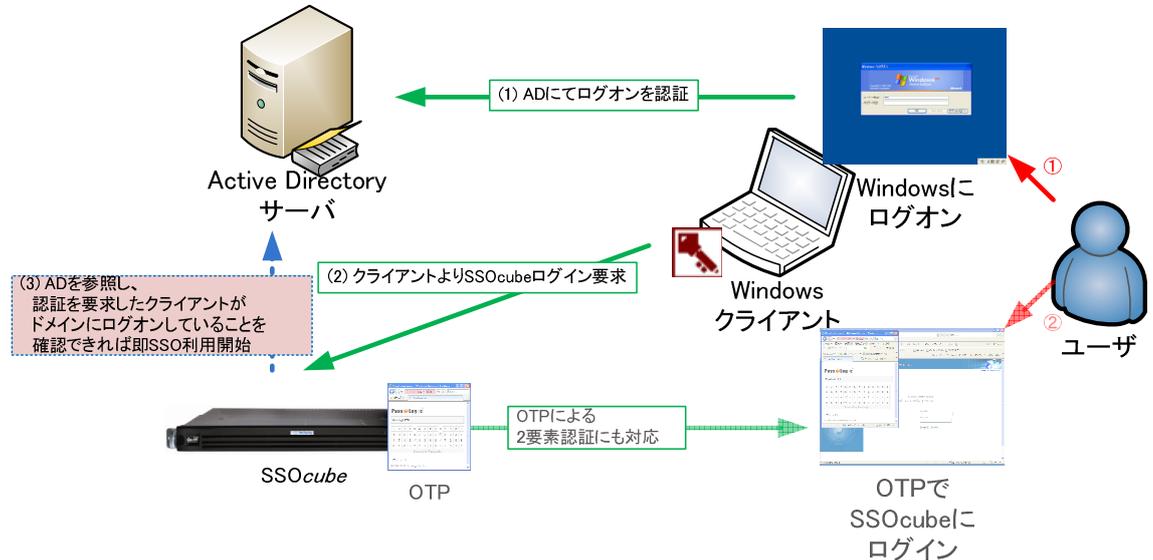
シングルサインオン機能を持ったさまざまな製品が市場に出荷されていますが、そのほとんどは、ソフトウェア製品として販売されているため、これらをベースとして現場に導入する場合、性能を評価しながらのハードウェア選定から始まり、導入設定、カスタマイズ・チューニングに至るまでシステムエンジニア (SE) の力が大いに必要であり、社内 SE のリソースを持たない企業にはかなりの外注コストを要します。

本製品は予めハードウェア（認証サーバ）にソフトウェア機能や運用管理に必要な機能をオールインワンで実装しているソリューション製品として提供されます。このアプライアンス製品化によって、従来導入が困難だった、外部の SE 技術者の支援が必要な中堅企業や大企業の部門ユーザおよび関連会社・子会社・工場や拠点等への導入が容易になります。企業におけるセキュリティの重要性がますます高まり、グローバル化への対応、コンプライアンス遵守が求められる中、本製品は、SSO 機能の短期間での導入と、早期展開を実現する製品です。

●製品出荷に合わせての機能強化

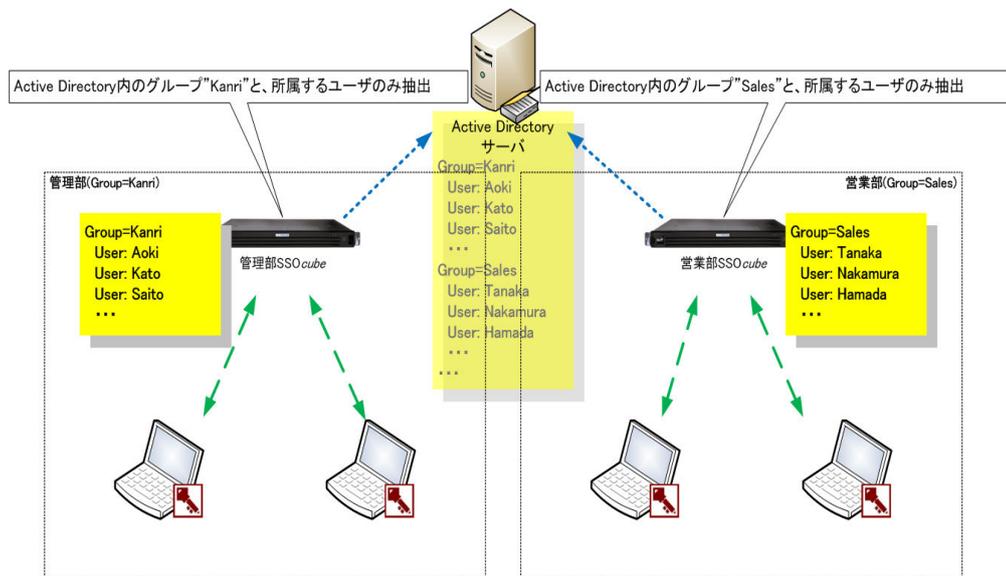
○ Microsoft 社アクティブディレクトリー (AD) との連携を強化

SSOcube 単体での利用のみに限らず、AD を外部レジストリとして利用が可能になりました。これにより Windows ログオンによる認証を SSOcube で感知し、新たな認証要求を回避することが可能です。また、Windows ログオン認証だけでなく SSOcube で登録されたアプリケーションの利用に際して 2 要素認証 (2FA) を OTP として利用可能です。



○ 複数台数の SSOcube が MS 社 AD を外部レジストリとして共用しての運用が可能

1000 名以上の大規模な利用に際して AD のグループを分けることにより SSOcube を複数台数運用することが可能になりました。1 部門を AD の 1 グループに割当て、その運用を 1 台の SSOcube に割り振り、別部門を別の SSOcube に割り振ることにより部門別での導入及び大規模での導入も可能になります。



●ライセンス体系の変更 (50 ユーザライセンス単位へ)

今回の製品出荷に伴い、100 ユーザモデルから 50 ライセンス単位で 1000 ユーザモデルまでの 19 モデルと予備機モデル 1 機種となります。価格も各モデル毎に設定し、よりきめ細やかなニーズに対応することが可能になりました。

■「SSOcube」について

SSO 機能をアプライアンス製品として提供する SSOcube は以下の特長を持ちます。

●SSO 機能（汎用 SSO：代理入力方式）

Web アプリケーションに限らずさまざまなアプリケーション、例えば、Windows®クライアント上で稼働する汎用機端末エミュレータにおいても SSO 機能が利用できるように実装されています。SSO 機能は、代理入力方式というシミュレーション形式による実装であり、ユーザアプリケーションの改変はほとんど必要ありません。SSOcube と通信する PC クライアント上のエージェントが、さまざまな PC 画面を識別の上、ユーザ ID やパスワード等を代理入力するため、アプリケーションへの対応度が飛躍的に上がり、適用範囲が大きく広がります。対象アプリケーションの PC 画面や動作を事前に学習（トレーニング）させ、非常に広範なアプリケーションに適用することが可能です。

●SSO セキュリティ強化（ソフトウェア・ワンタイムパスワード：マトリクス型認証方式搭載）

パスワード漏洩時にその被害が拡大するという SSO 製品における課題に対してセキュリティ強度を高める機能を実装。予め登録されているパターンにしたがって画面に表示された数字（チャレンジ）のマトリクスから数字列を入力するワンタイムパスワード方式（OTP）を採用し、パスワード漏洩による危険度を極小化しています。

●SSO 機能のオールインワンパッケージ（SSO ハブ）

SSOcube には、SSO 機能、マトリクス型認証機能、ユーザアカウント管理およびシステム管理機能が実装されており、直ちに導入運用可能な一つのソリューションパッケージとして提供されるため、本製品のみによるスタンドアローンの SSO ボックスとして導入が可能です。本製品では国内に留まらず世界において実証あるいは特許を取得しているソフトウェア群が、当社の認証サーバの技術を組み合わせたソリューション製品として実装されています。

- ◆SSO 機能：「AccessMatrix」製品群（i-Sprint 社（シンガポール本社）製）
- ◆マトリクス型認証機能：「PassLogic」製品（パスロジ社（東京本社）製）
- ◆認証サーバ：「AXIOLE」（当社ネットスプリング製）サブセット版

●SSOcube のその他の特長

・導入・運用管理が容易

SSO サーバに必要なソフトウェア機能をあらかじめ構築しているため、SSO 機能の選定や評価等の高度な知見と期間が必要な導入準備を省き、最小限の設定のみで運用を開始できます。すべての設定・管理は Web ブラウザから行うことができ、OS や特別なソフトウェアを別途インストールする必要がありません。

・2FA(二要素認証)としても利用可能

マトリクス型認証方式を実装していますが、別途パスワード認証を加えた形での認証方式も利用可能です。マトリクス型認証の使用・不使用をユーザアカウント毎に設定することも可能。バイオメトリクス認証やスマートカード認証等にも順次対応していく予定です。

・ユーザ情報の外部参照可能

外部の LDAP（当社 AXIOLE（アクシオレ）やマイクロソフト社 Active Directory®も含めて）認証サーバのアカウント情報を参照することも可能です。

・アプリケーション権限設定が可能

ユーザ毎、グループ毎に予め設定されたアプリケーションの利用権限を、それぞれに設定することが可能です。

・監査情報の収集

SSOcube 内部で、どのユーザがどのアプリケーションを利用したか等の各種監査ログ情報を収集できるため、アプリケーション利用の管理制御を可能とし、SSO による利便性と同時に、IT 統制への備えを実現します。

●SSOcube の詳細：<http://www.ssocube.com/>

以上

【i-Sprint Innovations Pte. Ltd について】

i-Sprint Innovations は、資格情報管理と多彩で強力な認証の機能を持ち金融機関グレードのソフトウェア・パッケージを提供することを目的に、金融機関において監査、コンプライアンス、システム基盤の各部門を経験したメンバーにより、2000年にシンガポールに設立されました。現在までシンガポール本社のほかに5ヶ国に現地出張所を持ち、16ヶ国の86の金融機関を中心とするお客様に弊社のサービスをご利用頂いております。主要製品 AccessMatrix™には4つの製品があります。

URL : <http://www.i-sprint.com/>

【パスロジ社について】

パスロジ社はワンタイムパスワード製品を主要ビジネスとするセキュリティベンダーです。2000年の設立以来、急発展を遂げるネットワーク社会において、強固かつ全ての利用者に負担の少ない認証方式を提供するべくソフトウェアの開発・販売を行ってまいりました。セキュリティポリシーの基準が高い金融機関をはじめとして、官公、文教、一般企業など、ユーザ数の大小を問わずさまざまな業種業態で採用され、現在では40万ユーザを超える方々にご利用いただいております。

URL : <http://www.passlogy.com/>

【ネットスプリングについて】

ネットスプリングは広島大学で開発された学内向けのネットワーク認証ソフトウェアを元に LAN アクセス管理アプライアンス「FEREC」を開発・販売してきました。昨今の情報セキュリティ市場の伸張に呼応し、2010年3月時点で、NetSpring 製品は日本国内の大学セグメントにおいて導入率13%を超える100校以上に導入されています。また、FEREC 導入の進展とともにネットワーク認証(ID管理)のオープン化や統合化の要望が増し、ID管理としてLDAPベースの認証サーバへのニーズが顕在化したため、オールインワンのアプライアンス型認証サーバアプライアンス「AXIOLE」の開発によりこの要望に応え、2006年末以降供給を継続、好評を得ています。

■ネットスプリングの主な製品

- ・ FEREC520 / FEREC720 / Center2 (Web 認証ゲートウェイ製品群)

FEREC 製品専用サイト : <http://www.ferec.jp/>

- ・ AXIOLE (LDAP系ネットワーク認証サーバアプライアンス)

AXIOLE 製品専用サイト : <http://www.axiole.jp/>

■株式会社ネットスプリング 会社概要

本社所在地 : 東京都港区三田三丁目12番16号 山光ビル2F (TEL : 03-5440-7337)

代表者 : 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 西武 進 (にしたけ すずむ)

設立 : 2000年3月

資本金 : 8,075万円

社員数 : 22名

事業内容 : ネットワーク関連製品の企画・開発・販売
ネットワーク関連の提案・構築・運用・サポート
コンピューターネットワークに関するコンサルティング

URL : <http://www.netspring.co.jp/>

※SSOcubeおよびSSOcubeロゴは、NetSpring Inc.が商標登録その他申請中です。

※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

本件に関する一般からのお問い合わせ先 :

株式会社ネットスプリング
マーケティング部

<http://www.ssocube.com/>

TEL : 03-5440-7337 E-mail : info@netspring.co.jp

本件に関する報道関係のお問い合わせ先 :

ネットスプリング SSOcube 広報事務局
(株)アルサーブ 担当 : 河端・川口

TEL: 03-5297-8808 E-mail: netspring@alsarpp.co.jp
〒101-0063 東京都千代田区神田多町 2-11-7-402